島根県立西部社会教育研修センター

遊問也》第一種是例

〒697-0016 浜田市野原町 1826-1 (いわみ~る3階)

TEL: (0855) 24-9344 FAX: (0855) 24-9345 E $\cancel{3}$ - \cancel{b} : seibu_shakaikyoiku@pref. shimane. lg. jp

第2号



長雨が続き、太陽が待ち遠しいこの頃です。各市町におかれましては、順調に今年度の事業が進められていることと思います。

さて、当センター上半期前半 (4~6月) におきまして特筆することは、「親学プログラム」に対する関心が非常に高いということです。 6月30日現在におきまして、親学プログラム受講者が337名 (9会場) に上ったことです。今、子育て中の保護者の皆さんや保育士さん等関係者のみなさんの学びへの関心が非常に高いということが、数値に表れているようです。

センターは、今後も各市町に出かけ、親学プログラム体験講座をお届け致します。 家庭教育学級、保護者会、PTA 研修会、教職員研修等で親学を行いたいという要望が ありましたら、お気軽にセンターまで連絡をお願いします。日程等を調整の上、セ ンタースタッフが各市町に出かけます。

修報告 5~7月の研修の様子をお伝えします

レポート① 基礎研修「社会教育施設入門」

この講座では、公民館職員、教育委員会担当者 を対象に、『公民館の役割と事業』をテーマに、 活力ある公民館への具体的な取組みについて考 えました。

浜田市立安城公民館主事 藤井礼子さんと、浜田市教育委員会弥栄分室 教育振興係長 藤井雅也さんの事例発表「人づくりからはじめよう」は、説得力があり、大変好評でした。

6月21日(月) 於:いわみ~る 受講者37名









受講者の声

- ▲◆公民館活動について、深く考えさせられる研修であり、大変刺激を受けよかった。
- ◆足を運んでもらえる公民館になることが、『人づくり』『集う場』になる一歩だと感じた。

レポート② 基礎研修「しまねの社会教育入門」

今回の講師は県社会教育課の井上孝弘氏。国の 動向や県の社会教育行政のあり方などについて お話いただきました。

後半は「地域における社会教育の方向を考える」というテーマでグループ協議を行い、地域の 課題とその解決について話し合いました。

しまねの社会教育を支えるみなさんの熱意が 感じられた研修でした。

6月21日(月) 於: いわみーる 受講者28名









受講者の声

- ◆目的と手段の話がしっくりきた。事業を行うときは、常に目的を意識したいと思う。
 - ◆公民館運営を進める上で、その理論に基づいて仕事ができるのではないかと勇気付けられた。

レポート③ 課題別研修「子ども理解と社会教育」

講師に九州女子短期大学、大島まな先生をお迎えし、「地域の子育てにおける社会教育の役割」について、家庭教育支援、学校支援、子どもの発達支援という三つの視点からお話いただきました。特に子どもの発達支援において、

①「過保護」の教育的風土:世話、指示、授与、需要(四つの過剰)がある。②自立のトレーニング(特に体力・耐性)が必要というご指摘に、多くの受講者がうなずいておられました。

5月28日(金) 於: いわみ~る 受講者58名









受講者の声

- ◆ 子どもたちが、何を考え、何に興味をもっているのかを考えるきっかけになった。
 - ◆ 地域と子どもたち、みんなが笑顔で活動できるように色々なプログラムを組んでいきたい と、今日の研修会を終えて、力が湧いてきた。

レポート④ 専門研修「コーディネート術実践講座」

講師に岡山大学大学院、熊谷慎之輔先生をお迎えし、「学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上」について大変分かりやすく話していただきました。特に、「世代継承」のサイクルを回していくために、大人と子どもが関わっていく場を設けることが必要であるという主張に、多くの方が共感していました。

グループワークは「コーディネーターとしての 向上に向けて」と題し、楽しくそして知的なワー クを行いました。大満足な一日となりました。

7月1日(木) 於: いわみ~る 受講者50名









受講者の声

- ◆子どもに関わることで、大人が育てられるというところに感銘を受けた。
- ◆コーディネーターの具体的な動きが、ワークの中でシュミレーションできたのが良かった。

親学ファシリテーター養成講座について

今年度から、当センターが開発した「親学プログラム」を活用して、親学講座を進行していただくファシリテーターを養成していきます。(詳細は、別紙要項をご覧下さい。)

受講を希望される方は、以下のことに留意してお申し込み下さい。

申込み・受講決定

- ① 各市町教育委員会を通して、申し込む。
- ② センター所長は、受講定数、地域バランス、所属等について考慮の上受講者を決定し、受講者・教育委員会等に通知。

受講後

- ① センター所長は、講座修了者に、受講終了証を交付。
- ② 受講修了者は、全員親学ファシリテーターとして登録。
- ③ ファシリテーター派遣要請があれば、出向く。(派遣先:公民館、PTA,子育でサークル等)